TCK12103005504.pdf (0 - 6 m) 1/1 ページ

ボーリング柱状図

調査名 ボーリングNO. 事業・工事名 - FNO ボーリング名 No.B-5(G202) 緯 36°55′02.0000″ 調査位置 北 発注機関 栃木県日光土木事務所 調査期間 2009-07-08 ~ 2009-07-10 東 経 139 ° 32 ' 02.0000 " ボーリン グ責任者 コ ア 鑑 定 者 主任技師 調査業者名 代理人 使用機種 ハンマー 落下用具 地盤勾配 孔口標高 102.54 m 角 T L 試 錐 機 方 鉛 水平 0° 下 度 向 総掘進長 5.45 m エンジン ポンプ 孔内水位 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 標層深 室 柱 \pm 色 相相 地層岩体区分 掘 深 10cmごとの 打撃回数 回数 深試採 深 試 験 名 および結果 内 進 質 対対 尺高厚度 状 度 度 料 取 (m) X 密稠 試 月 0 10 20 番 方 义 分 調 度度 事 測定月日 験 日 Ν 値 号 法 (m) (m) (m) (m) (m) 0-0.6mは道路築造時の盛土。 礫 が多く混じる。 0.6-1.40mは 20-40mmの角礫 を主体とした崩積土。 粘土分が混 じる。 20 30 40 50 礫混じり 粘土 (CH-G) 暗灰 07/08 1.45 11 30 外周のある岩片状のコアとなる。 暗褐 110 50 11 パックの中にコアは殆ど採取されるが、網目状であり、容易にパラ パラになる。 18 07/09 4.45 岩片状コアとなり、亀裂面は褐変 している。 黒灰 07/10 5.45 50